

日米初期ビデオアート上映会

# Vital Signals

ヴァイタル・シグナル

—芸術とテクノロジーの可能性—

2009年 11月 21日[土] / 22日[日] / 23日[月祝]

横浜美術館レクチャーホール

必見! 60年代、70年代の日米のアーティストによる初期ビデオアート。  
パイオニアたちが挑んだ50の実験の痕跡を横浜で目撃せよ!



ジョーン・ジョナス《左側 右側》1972年  
Courtesy of the artist and Electronic Arts Intermix (EAI), New York



本上映会は日本とアメリカにおけるビデオアート史の最初の20年に焦点をあてたものです。

これまでまとめて上映される機会はほとんど無かった日米の初期ビデオアート。日本初公開の作品も含む、日本を代表する38作家(組)による50の作品を3日間、全6プログラムで紹介します。ビデオアートのパイオニアであった彼らの実験の軌跡を、今日の視点からあらためて振り返る絶好の機会となるでしょう。



主催 | 横浜美術館 [横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント 共同事業体]  
EAI [エレクトロニック・アート・インターミックス]

特別協賛 | アメリカ大使館

会場 | 横浜美術館レクチャーホール [定員240席、先着順]

入場料 | 1プログラム券 800円 1日(2プロ)券 1,200円 3日通し(全6プロ)券 2,400円

※当日券のみの販売。各日最初の上映開始30分前から会場入口にて販売。

Vital Signals [ヴァイタル・シグナル] は、ニューヨークのビデオアーカイブ機関EAI (エレクトロニック・アート・インターミックス)、横浜美術館、および日本のキュレーターや研究者たちの共同企画による、国際巡回プログラムです。

Vital Signals というタイトルには、ビデオというメディアの特性 = 「活発な電気信号」、そして当時の芸術文化におけるビデオの存在 = 「重要な兆候」、という2つの意味を託しています。

また、本上映会は「ヨコハマ国際映像祭2009 [CREAM]」(会期: 10/31~11/29 会場: 新港ピア、BankART NYKほか)の連動イベントとして開催します。

お問合せ | 横浜美術館 広報担当 [庄司、大岩、佐藤]

tel.045-221-0319 fax.045-221-0317 e-mail: pr-yma@yaf.or.jp

※掲載用画像をデータにてご提供いたします。ご入用の際には広報担当までお問合せください。